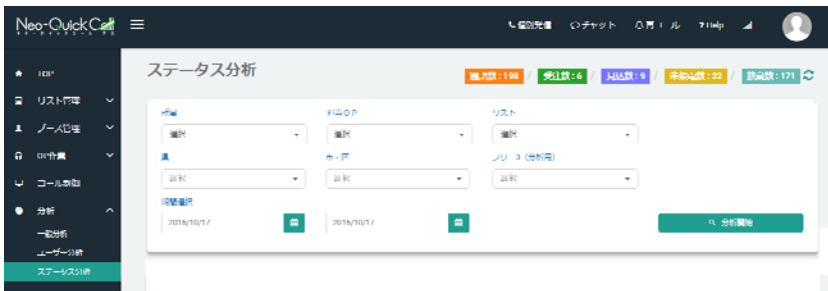


プレディクティブコールを行った結果のステータスを基準にして、どのようなステータスを、いつ（日）・だれが（OP）選択したかを分析できます。数の判定は、OPが架電後に選ぶ「ステータス」が基準となります。

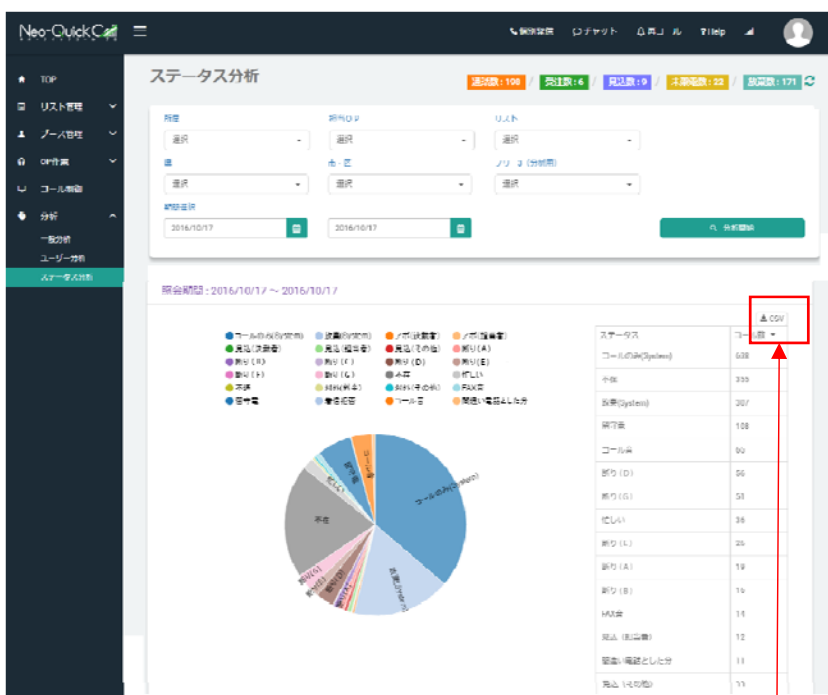
＜ステータス分析画面＞

①条件入力



①デフォルトでは、期間は一般分析画面を開いた日となっており、その他は何も選択されていない状態ですので、任意に設定し「分析開始」ボタンをクリックしてください。

②分析結果 – 日付のみ設定



②左図は、2016/10/17 のみを条件として分析した結果となります。

結果は円グラフと表で表示されます。

※ポイント  
分析条件を変更していただくことで、様々な分析が可能になります。

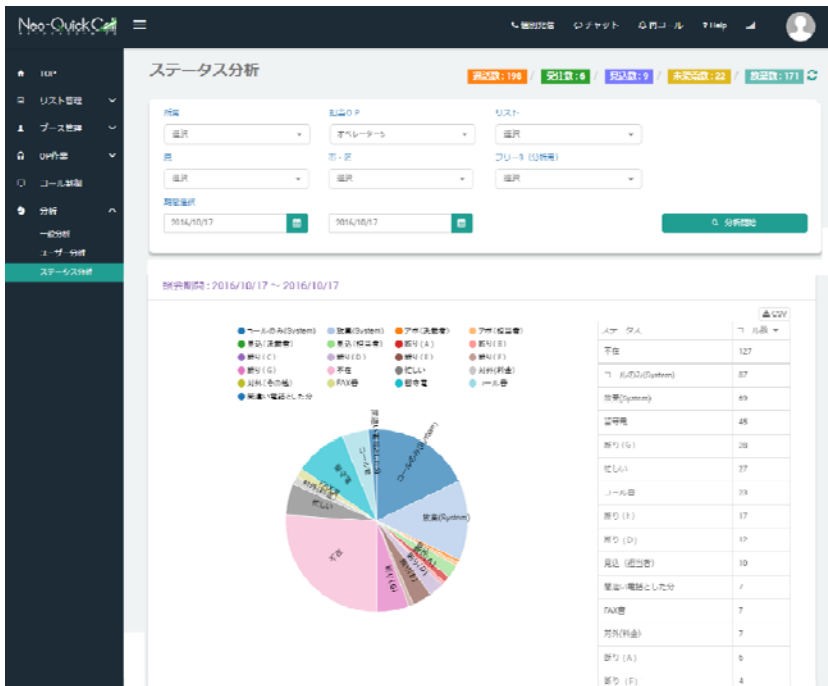
エクスポートボタン

ここで表示されるステータスは、「架電結果設定」で設定したステータスが表示されます。

プレディクティブコールを行った結果を、リストを基準にしていつ・だれが・どのくらい通話したのかを分析します。

<ステータス分析画面>

③分析結果 – 担当OP・日付 指定



<分析条件>  
 担当OP = オペレーター4  
 期間 = 2016/10/17

<分析結果>  
 オペレーター4の、2016年10月17日の架電業務時に選択されたステータスは以下の通り。

- ・不在 = 129
- ・コールのみ (System) = 87
- ・放棄 (System) = 70
- ・留守電 = 45
- ・断り (G) = 28
- ・忙しい = 27
- ・コール音 = 23
- ・断り (E) = 17
- ・断り (D) = 12
- ・見込み (担当者) = 10
- ・間違い電話 = 7
- ・FAX = 7
- ・対外 (料金) = 7
- ・断り (A) = 6
- ・断り (F) = 4

③左図は、担当OP・日付を指定した結果になります。

※ポイント  
 分析条件を変更していただくことで、様々な分析が可能になります。